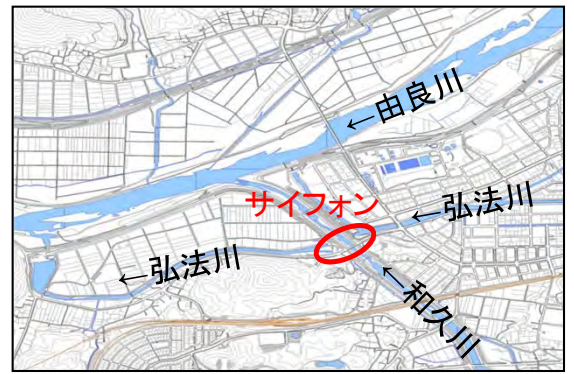


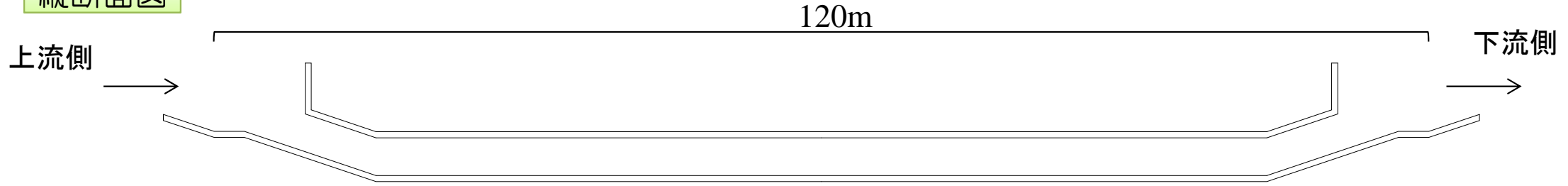
弘法川サイフォンについて

1 サイフォンの構造

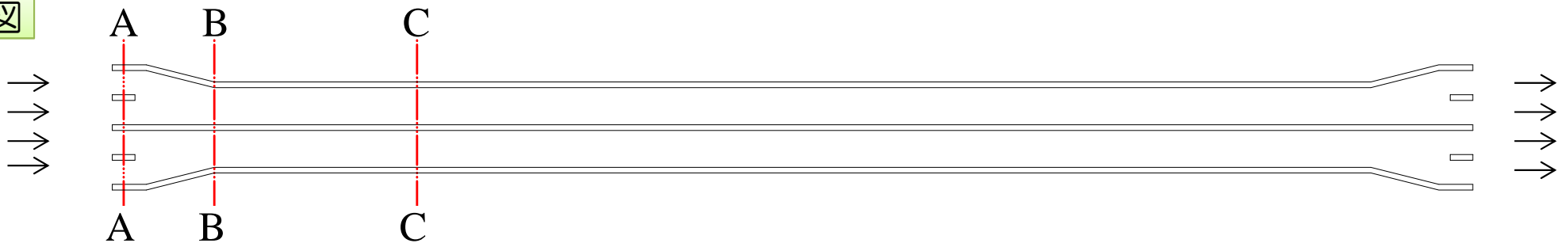
位置図



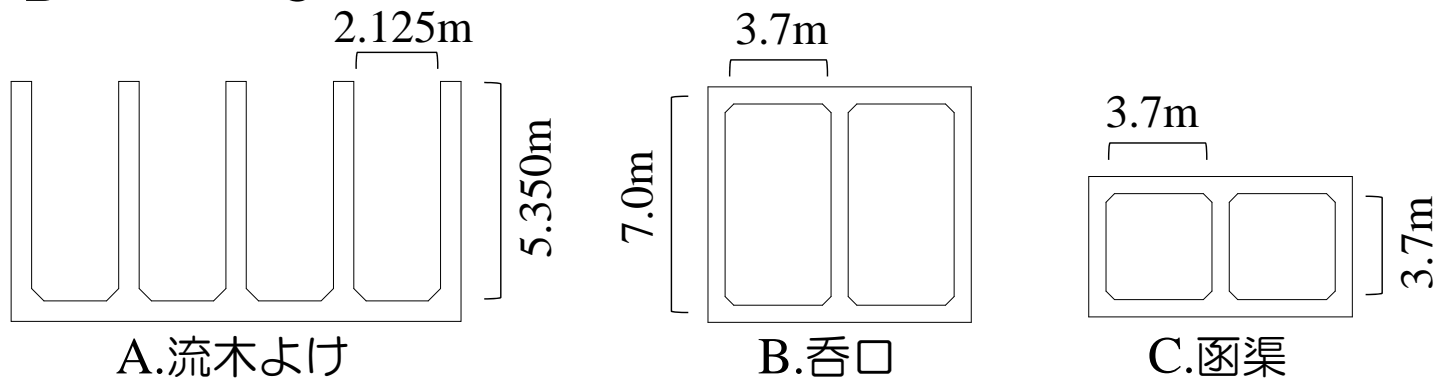
縦断面図



平面図



横断面図



2 流下物の堆積状況等

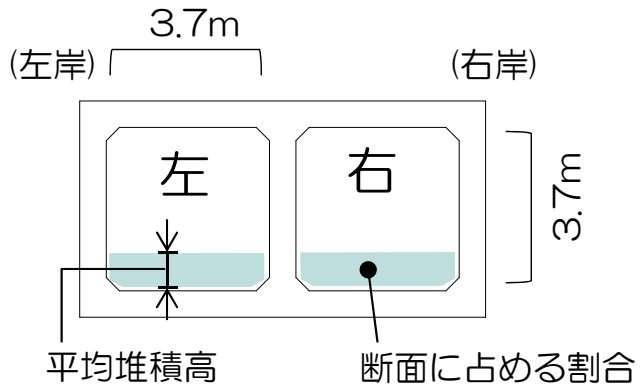
平成26年8月豪雨では、出水後にサイフォン呑口部に浮遊性の流木やゴミ等が確認された。一方、ピアが流木止めとして機能し、流木等がサイフォン内部に侵入するのを防止する効果があったと考えられる。これらの堆積物は、洪水後に撤去した。



H26/9/9頃撮影

3 サイフォン内部の状況

今回洪水後に堆積状況を確認したところ、サイフォン内部には流木やゴミ等はほとんど見られず、主にヘドロのような流動性の高いものが大部分であった。



H26年12月時点の堆積状況

	左	右
平均堆積高	56 cm	41 cm
断面に占める割合	15.1 %	11.1 %



4 今後の対応

洪水時に捕捉した流木やゴミ等を次期出水に備えて速やかに撤去できるよう管理用通路（重機設置場所等）の設置を検討し、引き続き適切な維持管理を実施する。